埼玉経済

企業、団体、商店街などの話題や情報をお寄せください
TEL 048・795・9161　FAX 048・653・9040
✉keizai@saitama-np.co.jp

消費者物価指数
前年比0.2%上昇
1月 電気代や食料値上がり

総務省が18日発表した1月の全国消費者物価指数（2020年＝100、生鮮食品を除く）は、前年同月比0・2%上昇の100・1だった。前年実績を上回るのは5カ月連続。資源価格の高騰や円安の影響で電気代や食料が値上がりし、全体を押し上げた。上昇幅は昨年12月（0・5%上昇）より鈍化した。

品目別では、エネルギーが前年同月比で17・9%伸びた。上げ幅は41年ぶりの大きさだった。電気代が15・9%、都市ガス代が17・8%、灯油が33・4%、ガソリンが22・0%それぞれ上がった。

生鮮食品を除く食料も1・3%値上がりした。原材料価格の高騰などを背景に調理カレーが12・3%、牛丼が9・0%それぞれ上昇した。小麦粉の値上げの影響で、食パンやあんパンも値上がりした。

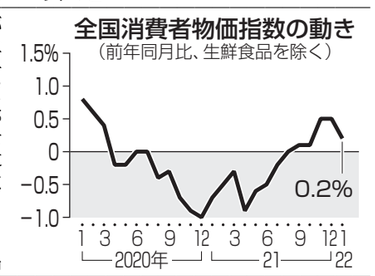
政府の観光支援事業「GoTo トラベル」の反動による押し上げ効果が一巡したため、宿泊料は0・6%上昇にとどまった。

一方、携帯各社で割安な料金プランが広がった影響で通信料は53・6%下落した。

生鮮食品を除く調査対象の522品目のうち311品目が上昇した。下落は154品目で、57品目は横ばいだった。

生鮮食品とエネルギーを除く1月の指数は1・1%下落の99・0。

消費者物価指数　消費者が購入する商品やサービスの価格動向を示す指数で、総務省が毎月発表する。食料品や家電製品、電気代など生活に身近な品目の値動きが対象。天候による価格変動が大きい生鮮食品を除いた指数が、全品目の総合指数よりも物価の動きを的確に反映しているとして重視される。日銀は前年比で2%の上昇を目標に、大規模な金融緩和政策を続けている。



秩父支店内に横瀬支店を移転
武銀、3月22日に

武蔵野銀行は18日、3月22日に横瀬支店（横瀬町）を、約1・9キロ離れた場所にある秩父支店（秩父市）内に移すと発表した。顧客が口座番号を変更する手間が掛からないよう「支店内支店方式」で運営する。金融サービスのデジタル化など生活様式の変化を背景に来店客数が減っており、経営資源を集約して効率化を図る。

横瀬支店の通帳やカードは引き続き使える。横瀬町の指定金融機関を務めており、役場庁舎内にある現金自動預払機（ATM）は稼働の日数と時間を拡大する予定。移転後の店舗建物は地域活性化に寄与する場としての活用を検討する。（小林哲伸）

ガソリン対策拡充へ
首相検討 トリガー凍結解除も

政府は18日、ガソリンなど燃油価格の急騰対策の拡充に向け、本格的な調整に入った。石油元売り会社に支給している補助の増額や、ガソリン税を軽減する「トリガー条項」の凍結解除を検討する。岸田文雄首相は18日の衆院予算委員会で「真に効果的な対策は何か、あらゆる選択肢を排除せず、集中的に検討する」と述べた。これまでの国会答弁ではトリガー解除を「現在は」と前置きして解除しない考えを示しており、方針を修正した格好だ。

ウクライナ情勢の緊迫化で原油価格が一段と高騰すれば、日本経済には打撃となる。元売りへの補助に関しては、上限を現在の1リットル当たり5円から引き上げることや3月末までとしている実施期限の延長、追加の財源確保について調整する。

一方、トリガー条項は、レギュラーガソリン価格が1リットル当たり160円を3カ月連続で超えた場合に、約25円の課税を停止する措置。実施すれば、単純にガソリン価格が約25円下がることになる。東日本大震災の復興財源確保のために凍結された。

自民党の総合エネルギー戦略調査会などは18日、現在5円に設定されている補助の上限を25円以上に引き上げるよう求める提言をまとめ、政府側に提出した。

ドローン一式 企業向け提供
KDDI、輸送などに

KDDIは、山間部や離島での物資輸送や、災害時の被災状況の確認などにドローンを活用する事業を本格展開すると発表した。企業や自治体向けに、機体の遠隔操作に必要な通信インフラや運航管理システムなどをパッケージにして提供を始めた。

操縦者の目の届かない距離で市街地上空を飛ぼす「レベル4飛行」が2022年度に解禁されることに対応する。複数のドローンが上空を飛び交う社会を見据え、安全な運航管理体制の構築に向けて、日本航空と提携したことも発表した。

KDDIが提供を始めた「スマートドローンツールズ」は、通信インフラなどに加え、ドローンから撮影した写真などを管理できるクラウドも100ギガバイトまで利用できる。月額料金は4万9800円で、機体は別料金とした。

ドローン事業の提携を発表し、ポーズをとるKDDIの松田浩路執行役員（右）と日本航空の西畑智博常務執行役員＝15日、東京都港区（KDDI提供）

1月ビール類3社で販売増
前年比、コロナ前は遠く

ビール大手4社が発表した1月のビール類販売実績は、昨年12月と同様キリンビールを除く3社が前年同月を上回った。新型コロナウイルス緊急事態宣言が出た前年に比べ、特に飲食店向けの業務用が伸び、市場全体で5割ほど増えた。だがオミクロン株流行で下旬以降は落ち込み、コロナ禍前の水準には程遠い。

人事

◇ホンダ（4月1日）　会長（取締役兼執行役副社長）倉石誠司▽取締役兼執行役副社長（取締役兼執行役専務）竹内弘平▽取締役（会長）神子柴寿昭▽執行役専務（執行役常務）青山真二、水野泰秀▽（6月の株主総会日）取締役兼執行役専務（執行役専務）青山真二▽退任取締役神子柴寿昭

米個人消費支出に注目
むさしの眼 週間株式展望

来週（21～25日）の日経平均（225種）は底堅い展開を想定する。

今週の日経平均は下落。米国の高インフレを受けた米金融政策への警戒感やウクライナ情勢の緊迫化に伴いリスク回避の動きから大幅安で始まった。週末は再度緊張感が高まったものの、米ロ外相会談が来週開催との報道から下げ幅を縮める展開となり、週間では2・1%の下落となった。

来週は25日に1月の米個人消費支出が発表される。2021年12月の米個人消費支出の物価指数は前年同月比で5・8%上昇し、82年以来の高い伸びとなった。変動の激しい食品とエネルギーを除くコア指数も4・9%の上昇と83年以来の高水準となった。3月の米連邦公開市場委員会で利上げが確実視されているだけに、利上げ幅を予想する上で物価動向に注目する。

当面の日本株は米国の金融政策の行方とウクライナ情勢が鍵を握るだろう。不透明要因が多いだけに株価も不安定になりやすいが、決算発表が終了した日本企業の21年4月～12月の純利益は前年同期比58%増と好調なだけに、株価の大幅な下落の可能性は少ないとみる。来週の日経平均は底堅い展開となるだろう。

（むさし証券ストラテジスト・齋藤健治）

JR東が水素車両
「ひばり」3月に走行試験

JR東日本は18日、水素燃料電池と蓄電池を電源とするハイブリッドシステム搭載の試験車両「HYBARI（ひばり）」を、川崎市の車両基地で公開した。国内初の営業運転に向けて、3月下旬に南武線の川崎―登戸などで走行試験を始める。

水素と酸素の化学反応から生み出された電気で走り、二酸化炭素（CO_2）を排出しないため、環境負荷を軽減できる。導入時期は未定だが、ディーゼル車が走っている地方路線を中心に採用して脱炭素化を進める方針だ。水素は1回の充填（じゅうてん）で140キロ走れるという。

公開された試験車両は2両編成で、2号車の屋根に水素タンクを設け、床下にトヨタ自動車の燃料電池車「MIRAI（ミライ）」で使われている電池を置いた。外観は青色をベースにし、水素燃料電池が排出するのしぶきを表現。シートは緑色を基調に山並みをイメージした。担当者は「クリーンで、これからの時代を担う電車だ」と話した。

JR東は2019年度にグループ全体で245万トンだったCO_2排出量を30年度に半減、50年度には実質ゼロにする目標を掲げている。

JR東日本が報道陣に公開した試験車両「HYBARI（ひばり）」＝18日午前、川崎市

城西大学発
研究の現場から ■20■

秋田 素子 理学部化学科 教授
実は役立つ有機ラジカル

私の所属する合成有機化学研究室では、「これまで金属などが使われていた磁性材料や電池材料、発光材料などを、炭素・窒素・酸素などからなる有機化合物を用いてつくる」ことを目標に、日々研究を行っています。現在着目しているのは「有機ラジカル分子」です。ラジカルは英語ではradical1、「過激な」「急進的な」などの意味を持ちます。これはラジカルが一般に非常に高い反応性を持つことから付けられた名称です。通常、分子の中では、電子はペア（対）をつくった状態で存在しており、安定しています。ところがラジカルは不対電子というペアになっていない単独の電子を持ちます。電子はペアになると安定化するため、ラジカルは他の分子と積極的に反応して電子対をつくりたがるので、高い反応性を示すのです。日常生活でもよく耳にする、活性酸素にもラジカルが含まれています。活性酸素が体内で細胞を損傷してさまざまな疾患をもたらす要因となるのは、このように極めて反応性が高い性質を持つからです。

反応性が高く不安定で合成・単離するのは困難なラジカルですが、有機分子をうまくデザインし、よい合成経路を選択すれば、安定有機ラジカルとして取り出すことが可能です。ラジカルが安定に存在できることが明らかにされてから120年になりますが、近年ではこの安定有機ラジカルを新材料とする研究が活発に行われています。その一つが磁性体への応用です。不対電子は磁石の性質を示すので、有機ラジカルを集めて並べれば、有機分子で磁石がつくれます。この有機磁石は従来の無機磁石よりも軽量で透明、多機能化が可能など、これまでの磁石にはない新しい特性を持ち合わせています。

私たちの研究室でも、既にいくつかの有機磁石を合成しています。また、ラジカルは不対電子を放出したり、外部から電子を受け入れて電子対を形成するなど、電子の出し入れが容易です。この素早く電子を出し入れするラジカルの性質は電池材料としても非常に魅力的です。高分子材料に有機ラジカルを組み込んだポリマー型のラジカル電池材料はすでに実現され、現在汎用されているリチウムイオン電池に匹敵する容量を持ちます。さらに高出力可能で、フレキシブルな形状を持つなど有機ラジカル電池に特有の新たな機能も有しています。私たちの研究室では、有機ラジカル電池への応用を目指し、一分子中に複数個のラジカル部位を持つ新しい有機ラジカルの合成を行っています。

思えば、私が初めて有機ラジカルと出合ったのは、大学4年生の卒業研究でした。当時は有機分子からラジカルを発生させる研究を行っていました。その後ラジカルの研究から離れ、さまざまな研究分野を渡り歩いてきましたが、巡り巡って城西大学で再び有機ラジカルを研究対象にしています。まさに温故知新です。知れば知るほど新しい顔を見せてくれる有機ラジカルとは、まだまだ長い付き合いになりそうです。

あきた・もとこ　1970年東京都生まれ。94年、お茶の水女子大学理学部卒業。99年、東京大学大学院理学系研究科修了。博士（理学）。分子科学研究所研究員、九州大学有機化学基礎研究センター研究員、分子科学研究所助手、広島大学理学部助手、大阪電気通信大学准教授を経て2012年より現職。専門は「優れた機能をもつ新しい有機分子の合成と物性評価」。

TOKYO MARKET REPORT

●株式

◆ウクライナ情勢で荒い展開
東証、終値は110円安

18日の東京株式市場の日経平均株価（225種）はウクライナ情勢を巡り値動きの荒い展開となり、前日比110円80銭安の2万7122円07銭と続落して取引を終えた。緊迫化を警戒して一時は400円超下げたが、米国とロシアの外相が来週後半に会談する見通しだと伝わると急速に下げ幅を縮小した。東証株価指数（TOPIX）は6.93ポイント安の1924.31。出来高は約11億2500万株。

バイデン米大統領が17日、ロシアのウクライナ侵攻の脅威は「非常に高い。近日中に起きるとの感触もある」と発言し、緊張が高まった。一方、米側は米ロ外相会談を提案、国務省によると来週後半に欧州で行われる見通しとなったと伝わった。市場関係者は「ちょっとした情報で株価が上下に振れやすい環境だった」と話した。

東京市場（18日）

◆円相場（午後5時）銀行間
対ドル　115.11－115.13円（0.18円高）
対ユーロ　130.88－130.92円（0.27円高）

◆株式（終値）
日経平均　2万7122.07円（110.80円安）
TOPIX　1924.31（6.93ポイント安）

◆長期金利（新発10年国債）
0.215%（−0.005）

◆短期金利（無担保コール翌日物）
−0.018%

●外為

◆東京円、115円台前半

18日の東京外国為替市場の円相場は1ドル＝115円台前半で取引された。

午後5時現在は前日比18銭円高ドル安の1ドル＝115円11～13銭。ユーロは27銭円高ユーロ安の1ユーロ＝130円88～92銭。

日米株式相場の下落で投資家心理が悪化し、相対的に低リスク通貨とされる円を買う動きが先行。ウクライナ情勢を巡り米ロシアの外相会談が来週後半に開かれると伝わると、高まった警戒感がやや和らぎ、円は上昇幅を縮める場面があった。

市場では「米ロの交渉を見極めたいとの様子見気分も強かった」（外為ブローカー）との声があった。

かぶと町だより

▽北海電や東北電などの電力株が高い。準大手証券関係者は「全体の地合いが弱い中で配当利回りを期待した買い注文が入った」と指摘した。ただ、最近の原油価格は高値圏にあるため燃料コストは増加傾向にあり、ウクライナ情勢やイラン核合意の見通しなど不透明要因も多い。

◆金貨売買相場◆

	出来値	前日比
メイプル（1オンス）		
小売価格	256097円	△3122
買取価格	232939円	△2878
ウイーン（1／10オンス）		
小売価格	27643円	△337
買取価格	23123円	△286

生花（㈱埼玉園芸市場調べ）

	高値	中値
白大菊	100	55
黄大菊	77	50
スプレイ菊	75	50
小菊	50	35
赤カーネーション	50	25
ピンクカーネーション	50	30
スプレイカーネーション	55	30
赤バラ	180	100
ピンクバラ	170	80
白バラ	150	90
スプレイバラ	—	—
テッポウユリ	85	75
スカシユリ	110	65
オリエンタル系ユリ	550	170
カトレア	220	120
デンファレ	50	45
シンビジューム	400	300
トルコ桔梗	370	180
サンダーソニア	—	—
グラジオラス	—	—
カラー	80	70
アルストロ	120	70
スターチス	80	55
スターチスHB	—	—
ガーベラ	85	40
デルフィニウム	160	100
グロリオサ	—	—
宿根カスミソウ	250	150
ソリダコ・ソリダスター	—	—

鶏卵（1キロ＝円）

		高値	安値
【全農】			
	LL	194	168
	L	200	174
	M	200	174
もちあい	MS	195	169
	S	179	153
	SS	149	123
【入間】		270	
【東洋】		高値	安値
	LL	194	167
	L	199	171
	M	199	171
もちあい	MS	196	168
	S	179	153
	SS	148	122
	特殊	205	59

枝肉【東京】もちあい（1キロ＝円）

和牛	メス	去勢	交雑種	メス	去勢
A5	2793	A5 2657	A5 —	A5 —	
A4	2277	A4 2207	A4 1950	A4 1800	
A3	2038	A3 1997	A3 1317	A3 —	
A2	—	A2 —	A2 —	A2 1393	
A1	—	A1 —	A1 —	A1 —	
B5	2271	B5 —	B5 —	B5 —	
B4	2050	B4 2065	B4 1778	B4 1619	
B3	1898	B3 1871	B3 1307	B3 1393	
B2	—	B2 —	B2 1228	B2 1239	
B1	—	B1 —	B1 —	B1 —	

豚極上	高値	安値	加重平均
上	541	518	523
中	756	497	516
並	811	454	507
等外	648	378	486
	508	259	361
	牛	豚	
上場頭数	316頭	936頭	

【さいたま】もちあい

（単位キロ当たり）

		高値	安値	加重平均
豚	極上	519	519	519
	上	529	497	509
	中	532	475	504
	並	508	356	467
	等外	424	324	365
牛				
馬				

	豚	牛	馬
上場頭数	235	—	—
処理頭数		—	—
預り頭数		—	—

【川口】　受信なし

豚	高値	安値	加重平均	処理頭数
極上	—	—	—	—
上	—	—	—	—
中	—	—	—	—
並	—	—	—	—
等外	—	—	—	—
上場	—	処理		—

商況

東京市況（大田／東一調べ）＝単位：円

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン(神・10キロ)	1620	1404
ニンジン(千・10キロ)	1188	972
ゴボウ(青・4キロ)	—	2376
レンコン(茨・4キロ)	3456	3240
ハクサイ(茨・15キロ)	864	648
キャベツ(愛知・10キロ)	—	1080
ホウレン草(群・0.2キロ)	151	130
ネギ(千・5キロ)	1404	1080
セロリ(静・1キロ)	3024	2484
ブロッコリー(愛知・5キロ)	2160	1426
レタス(兵庫・10キロ)	3456	3024
キュウリ(千・5キロ)	3376	2052
ナス(高・5キロ)	3024	2484
トマト(熊本・4キロ)	1728	1188
ピーマン(宮崎・0.13キロ)	135	103
サヤエンドウ(愛知・1キロ)	1620	—
サツマイモ(千・5キロ)	2160	1296
ジャガイモ(北・10キロ)	3024	2808
サトイモ(埼・10キロ)	5400	4860
タマネギ(北・20キロ)	4968	4536
生シイタケ(岩・0.1キロ)	—	119
エノキタケ(長野・0.1キロ)	59	32
カブ(千・1キロ)	184	162
ミズナ(茨・0.2キロ)	173	86
コマツナ(埼・0.5キロ)	140	140
小ネギ(福岡・0.1キロ)	119	76
三つ葉(千・1キロ)	648	270
シュンギク(千・0.2キロ)	108	—
ニラ(栃・0.1キロ)	119	76
チンゲンサイ(茨・2キロ)	1080	756
ミニトマト(熊本・3キロ)	2160	1728
ナガイモ(青・10キロ)	3456	3024
ニンニク(青・1キロ)	1944	1836
根ショウガ(高・4キロ)	—	3240
シメジ(長野・0.1キロ)	65	38
マイタケ(新潟・0.1キロ)	189	49

◇果物◇	高値	中値
ミカン(静・8キロ)	4860	4104
(佐・5キロ)	—	—
(熊・8キロ)	3240	—
ポンカン(媛・10キロ)	—	—
ネーブル(広・10キロ)	—	—
甘夏カン(熊・10キロ)	—	—
伊予カン(媛・10キロ)	—	—
ハッサク(広・10キロ)	—	—
デコポン(佐・5キロ)	—	—
セトカ(媛・3キロ)	4320	—
キンカン(宮崎・3キロ)	3024	—
リンゴ(青・10キロジョナG)	—	—
(青・10キロ紅玉)	5400	—
(青・10キロふじ)	7560	—
(青・10キロ王林)	6480	—
カキ(福岡・10キロ富有)	—	—
イチゴ(栃・0.28キロとちおとめ)	410	378
(福岡・0.27キロあまおう)	486	—
(静・0.28キロ紅ほっぺ)	454	—
(群・0.28キロやよいひめ)	—	—
(佐・0.24キロいちごさん)	432	—
メロン(千・1キロアールス)	1188	1026
(静・1キロアールス)	3780	1620
(熊・5キロアンデス)	—	—
スイカ(熊・15キロ大玉)	—	—
キウイ(福岡・3.6キロ)	—	—
干し柿(福島・0.23キロあんぽ)	—	—

川口青果市場つま物市況（川口中央青果市場調べ）

	高値	中値
キノメ（埼・1箱）	864	756
ぼうふう（埼・1束）	—	—
アサツキ（埼・1箱）	—	—
わけねぎ（埼・30束）	3240	2160
メカブ（埼・1箱）	—	—
メダイコン（埼・1束）	—	—

浦和市況（浦和中央青果／巣市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ピーマン(茨・4キロ)	—	3672
トマト(熊・4キロ)	—	1188
ネギ(埼・5キロ)	—	2160
ナス(高・5キロ)	—	2700
キャベツ(愛知・10キロ)	—	1080
タマネギ(北・20キロ)	—	4860
パレイショ(北・10キロ)	—	2700
カブ(千・1キロ)	—	216
ニンジン(埼・10キロ)	—	972
レタス(静・10キロ)	4320	—
ホウレン草(埼・0.3キロ)	130	108
ニラ(茨・0.1キロ)	86	—
コマツナ(埼・0.2キロ)	108	97
チンゲンサイ(茨・2キロ)	756	—
カンショ(茨・5キロ)	1728	—
生シイタケ(島・0.1キロ)	162	130
エノキタケ(新潟・0.2キロ)	65	54
シメジ(長野・0.1キロ)	76	—
キュウリ(埼・5キロ)	—	2214
ハクサイ(茨・15キロ)	1296	864
◇果実◇		
リンゴ(青・10キロサンふじ)	—	4536
伊予カン(媛・10キロ)	—	—
メロン(熊・5キロアンデス)	4860	—
バナナ(フィリピン・13キロ)	3672	—

熊谷市況（熊谷青果市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン(神・10キロ)	—	1404
ニンジン(埼・10キロ)	1296	1080
ゴボウ(青・4キロ)	1080	—
ハクサイ(埼・15キロ)	1296	1080
ミズナ(埼・0.2キロ)	130	86
キャベツ(神・10キロ)	1512	1296
ホウレン草(群・0.2キロ)	151	—
ネギ(埼・5キロ)	—	2484
ニラ(栃・0.1キロ)	—	130
レタス(熊・10キロ)	2916	2700
チンゲンサイ(埼・0.3キロ)	—	—
キュウリ(宮崎・5キロ)	3024	2160
ナス(高・0.4キロ)	216	—
トマト(熊・4キロ)	—	—
ピーマン(宮崎・0.13キロ)	—	130
カンショ(茨・5キロ)	1728	1512
パレイショ(北・10キロ)	—	2808
タマネギ(北・20キロ)	—	4968
生シイタケ(各地・0.1キロ)	173	151
エノキタケ(各地・0.2キロ)	76	70
◇果実◇		
ミカン(和・10キロ)	4320	—
イチゴ(栃・0.25キロとちおとめ)	540	432
リンゴ(青・10キロサンふじ)	—	4860
バナナ(フィリピン・13キロ)	—	3240

上尾市況（埼玉中央青果／巣市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン(千・10キロ)	1728	—
ニンジン(埼・10キロ)	1620	—
ゴボウ(青・4キロ)	1080	—
ネギ(埼・5キロ)	2160	—
ニラ(栃・0.1キロ)	119	—
キュウリ(埼・5キロ)	3024	—
ナス(高・5キロ)	3024	—
トマト(埼・4キロ)	1404	—
ピーマン(高・0.15キロ)	140	—
カンショ(茨・5キロ)	2160	—
ヤマトイモ(千・4キロ)	2700	—
パレイショ(北・10キロ)	3024	2700
タマネギ(北・20キロ)	5076	4644
生シイタケ(形・0.1キロ)	140	—
エノキタケ(長野・0.1キロ)	54	—
レタス(静・10キロ)	2700	—
コマツナ(埼・0.3キロ)	—	—
ホウレン草(群・0.3キロ)	—	—
ハクサイ(茨・13キロ)	1080	—
ミズナ(茨・0.2キロ)	—	—
◇果実◇		
メロン(静・8キロアールス)	—	—
リンゴ(青・10キロふじ)	—	—
バナナ(フィリピン・12キロ)	—	—
グレープF(アメリカ・17キロ)	—	—

大宮市況（大宮中央青果／巣市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン(神・10キロ)	—	1404
カブ(埼・1キロ)	—	140
レンコン(茨・4キロ)	—	3240
ハクサイ(群・13キロ)	—	864
コマツナ(埼・0.2キロ)	—	97
キャベツ(愛知・10キロ)	—	1188
ホウレン草(群・0.2キロ)	—	162
ネギ(埼・5キロ)	—	2160
ニラ(茨・4キロ)	—	3888
チンゲンサイ(群・3キロ)	—	972
キュウリ(千・5キロ)	—	2376
トマト(熊・4キロ)	—	1512
ピーマン(宮崎・4キロ)	—	—
パレイショ(北・10キロ)	—	—
タマネギ(北・20キロ)	—	5076
生シイタケ(秋・0.1キロ)	167	—
ナメコ(形・0.1キロ)	—	65
エノキタケ(長野・0.2キロ)	—	65
シメジ(長野・0.1キロ)	—	54
マイタケ(新潟・0.1キロ)	—	—
◇果実◇		
ミカン(静・10キロ)	—	4860
伊予カン(媛・10キロ)	—	—
レモン(アメリカ・17キロ)	—	—
バナナ(フィリピン・13キロ)	—	3780

春日部市況（さいたま春日部市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン(神・10キロ)	—	1296
ニンジン(千・10キロ)	1620	1296
ゴボウ(茨・4キロ)	—	—
レンコン(茨・4キロ)	3564	3132
コマツナ(埼・0.2キロ)	140	—
キャベツ(愛知・10キロ)	1836	—
ホウレン草(埼・0.3キロ)	194	—
ネギ(群・5キロ)	1944	1728
チンゲンサイ(茨・3キロ)	864	648
キュウリ(埼・5キロ)	2484	—
ナス(高・5キロ)	2916	—
トマト(埼・4キロ)	1512	—
ピーマン(高・0.15キロ)	130	—
パレイショ(北・10キロ)	2700	—
タマネギ(北・20キロ)	5076	—
サトイモ(埼・10キロ)	—	—
エノキタケ(長野・0.2キロ)	—	—
◇果実◇		
ミカン(神・10キロ)	3240	2700
ハッサク(和・15キロ)	3791	3229
ポンカン(媛・10キロ)	—	—
イチゴ(栃・0.26キロとちおとめ)	—	410
メロン(高・9キロアールス)	—	11800
リンゴ(青・10キロサンふじ)	5940	4860
バナナ(フィリピン・13キロ)	3240	—

川口市況（川口中央青果／巣市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン(千・10キロ)	1620	1404
カブ(千・0.8キロ)	—	—
ニンジン(千・10キロ)	—	1404
ハクサイ(各地・13キロ)	1080	864
ネギ(埼・5キロ)	—	2484
コマツナ(埼・0.3キロ)	—	75
キャベツ(神・10キロ)	—	1080
ブロッコリー(愛知・4キロ)	1512	—
ホウレン草(茨・0.2キロ)	—	140
ニラ(各地・0.1キロ)	—	151
ナス(高・0.3キロ)	—	216
トマト(各地・4キロ)	1620	1296
キュウリ(群・5キロ)	2916	2700
レタス(各地・8キロ)	4860	2700
ピーマン(各地・0.15キロ)	—	151
パレイショ(北・10キロ)	3240	3024
タマネギ(北・20キロ)	5400	5184
カンショ(千・5キロ)	—	2160
エノキタケ(各地・0.2キロ)	—	70
生シイタケ(各地・0.1キロ)	183	151
◇果実◇		
ミカン(静・10キロ)	5400	4536
伊予カン(各地・10キロ)	3240	2808
リンゴ(各地・10キロふじ)	5940	4320
バナナ(フィリピン・12キロ)	3996	2700

川越市況（東京新宿べ／ジ川越調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン(千・10キロ)	—	—
ニンジン(各地・10キロ)	1512	1296
ハクサイ(茨・13キロ)	864	—
キャベツ(埼・10キロ)	—	1080
コマツナ(埼・0.3キロ)	140	—
ホウレン草(埼・0.3キロ)	140	130
ネギ(各地・5キロ)	2484	2160
ブロッコリー(各地・5キロ)	2160	—
レタス(各地・10キロ)	3240	2754
チンゲンサイ(茨・0.2キロ)	—	108
キュウリ(埼・5キロ)	2268	2052
ナス(高・5キロ)	3024	2808
トマト(各地・4キロ)	1512	1296
ピーマン(各地・0.15キロ)	130	118
パレイショ(北・10キロ)	2916	2484
サトイモ(埼・10キロ)	—	—
タマネギ(静・20キロ)	6696	—
生シイタケ(各地・0.1キロ)	184	—
◇果実◇		
ミカン(各地・10キロ)	5076	3240
リンゴ(青・10キロふじ)	5400	3240
伊予カン(媛・10キロ)	3780	2700
イチゴ(各地・0.28キロ)	486	432
バナナ(フィリピン・13キロ)	3780	3024
キウイ(和・3.6キロ)	—	—

秩父市況（秩父総合食品卸売市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン(神・10キロ)	1944	—
ニンジン(埼・10キロ)	1620	—
ゴボウ(青・4キロ)	—	—
レンコン(茨・4キロ)	3780	—
ハクサイ(茨・15キロ)	1080	—
キャベツ(愛知・10キロ)	—	—
ホウレン草(群・0.2キロ)	172	—
ネギ(形・5キロ)	—	—
ブロッコリー(埼・4キロ)	—	—
レタス(茨・10キロ)	—	—
キュウリ(宮崎・5キロ)	—	—
ナス(高・0.4キロ)	248	—
トマト(熊・4キロ)	—	—
ピーマン(茨・0.15キロ)	—	—
カンショ(茨・5キロ)	—	—
パレイショ(北・10キロ)	3456	—
タマネギ(北・20キロ)	—	—
生シイタケ(各地・0.1キロ)	130	—
エノキタケ(長野・0.2キロ)	—	—
◇果実◇		
ミカン(和・10キロ)	3780	—
イチゴ(埼・0.3キロとちおとめ)	—	—
リンゴ(青・10キロサンふじ)	4536	—
バナナ(フィリピン・13キロ)	—	—
パイナップル(フィリピン・12キロ)	2912	—